Toalson

X-1000L

安全上の注意　警告・注意

注意

屋外ではご使用にならないで下さい。お子様の手の届かないところで保管してください。未成年の方がご使用になる場合は、必ず保護者の監督の下でご使用下さい。

取扱説明書

◆この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

もくじ

1. ご使用になる前に P.2
各部の名称
ターンテーブルの取り付け
フロアスタンドの組み立てかた P.3
電源のつなぎかた P.4
ストリングクランプのセット
テニスのラケットセッテイング P.5
フレームサポートポストの仮止め
センターサポートの微調整
フレームショルダーサポートの調整
バドミントンラケットのセッティング P.6
コントロールパネルの機能 P.7

2. さぁ張り上げていきましょう P.9
ストリングの張り上げ
～縦糸から張り始めます～
クランプ・クランプベースのセット
テンションをかけていきます P.11
～横糸～

3. マシーンの調子が悪いとき、次の原因を確かめましょう P.12

4. ワインダーハウスの脱着方法

5. マシーンのお手入れ

6. アフターサービス P.13

マシンの仕様
定格電圧：AC100V
定格消費電力：65W
定格周波数：50/60Hz

◆酸化皮膜処理された高強度アルミ押し出し成型ボディー
◆フットペダル付
◆ダイヤモンドダストコーティングされたローラーガイド付き横引きストリンググリッパー
◆ラケットのセッティングが格段に容易になった、センタースクリュー、フレームショルダー内蔵のターンテーブル →P.5
◆3 段階のプレストレッチ機能→P.7
◆3 段階の引張りスピード調節機能→P.7
◆9 つまで設定テンションを登録できるメモリー機能→P.7
◆デジタルによるテンション表示→P.7
◆11 ポンドから 88 ポンドの範囲で電動により確実に張り上げる事が出来ます。→P.8
◆簡単な操作で確実に固定できるダイヤモンドコーティングが施されたクランプ →P.10
◆便利なツールケース内蔵→P.10

1. ご使用になる前に

各部の名称

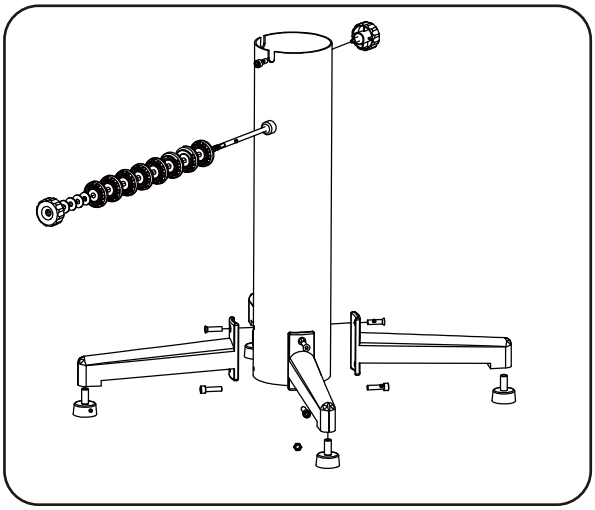
ターンテーブルの取り付け

- ６ミリの６角レンチを使って４点のネジを止めます

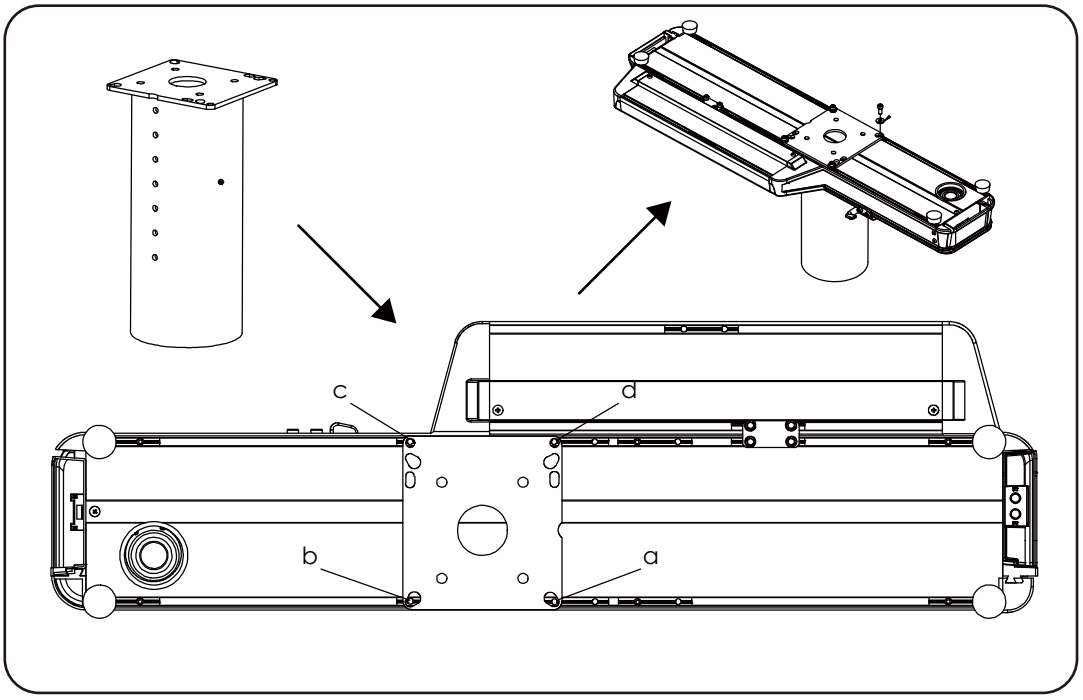
ヒント 故障等の修理の際に取り外しが必要です。

フロアスタンドの組み立てかた

1 ５ミリ、６ミリの６角レンチを使用して
スタンドの支柱を組み立てます。



2 プレート部分をスタンド上部を差し込み a～d の４点を止めます。



3 ２を１にはめ込みます。

電源のつなぎかた

1 電源コードを AC アダプタにしっかりと差し込みます。
次にプラグを本機の後ろに差し込みます。

2 フットペダルのコードを本機後ろのプラグに差し込みます。

3 電源スイッチを「ON」にして電源が入ります。
◆同時に照明ランプが点灯し、テンション表示のカウントダウンが開始します。

注意

110V ～ 220V の範囲でご使用下さい。
本機のプラグはアース付きとなっています。
必ずアースして下さい。

ストリングクランプのセット

クランプをクランプ台に差し込みます。

◆出荷時にグリス処理しておりますので、
ご使用前には乾いた布で不要なグリスを取り除いてください。

機能

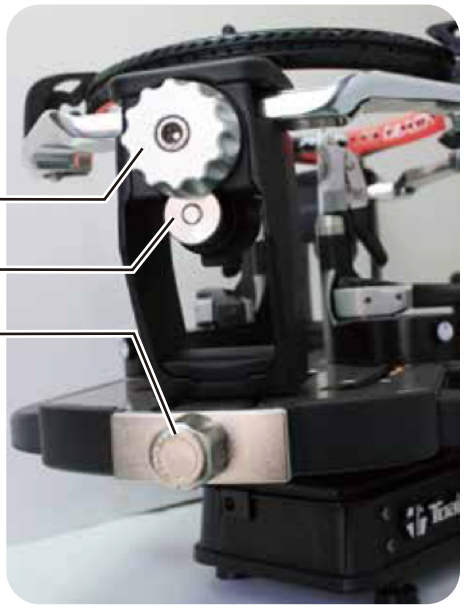
クランプのオートリリース機能付き

＜テニス＞ラケットのセッティング

フレームサポートポストの仮止め

1 ラケットをフレームサポートの上に置きます。

2 ターンテーブルの端についているスクリューを回し、フレームサポートポストをラケットの大きさに応じて動かし調整します。



注意 ラケットにダメージを与えないために、センターポストはフレームサポートポストを固定し終えるまでラケットに触れない位置で仮止めして下さい。

センターサポートの微調整

センターサポートのノブを回し、少し抵抗を感じる程度で固定します。

◆張り上げ途中にフレームサポートが緩くなる事がありますが、必要に応じて調整してください。

フレームショルダーサポートの調整

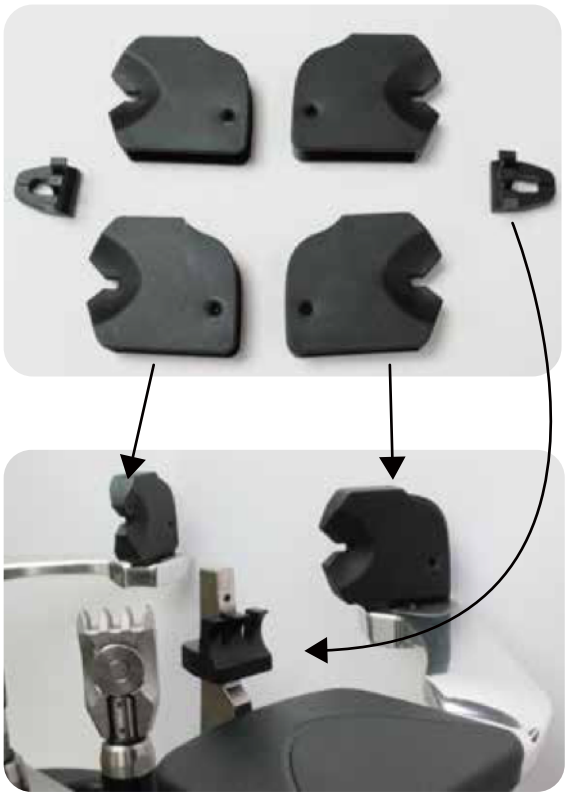
ショルダーサポートのパッド部分がラケットに正しい面で当たるように調整した上で固定します。

◆ショルダーサポートは、ラケットの形状に合わせて、ラケットをしっかり固定するために、調整できるよう設計されています。

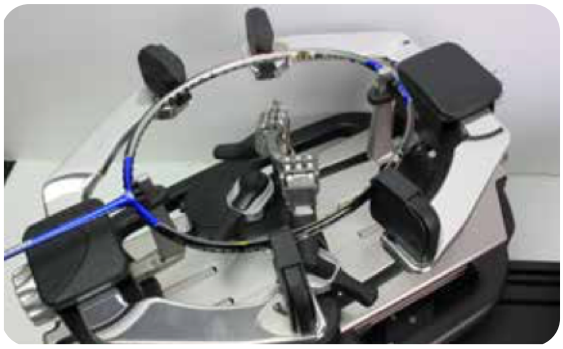
＜バドミントン＞ラケットのセッティング

1 付属のバドミントン用のアダプター（計６点）を付けてください。

◆クランプはテニス・バドミントン共用です。



2 テニスラケットと同様にセットしてください。



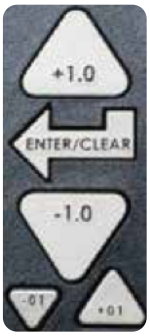
コントロールパネルの機能

メモリーボタン

9 つのテンションを記憶させることが出来ます。
[新しいテンションを記憶させる場合]
リターンボタンを押します。
現在設定されている 3 桁のテンションを表示させます。
表示された 3 桁のテンションの左側に表示される 1 ～ 9 の任意の番号を選択しエンターボタンを押します。

プレストレッチボタン

ストリングを設定したテンションより 10%、又は 20% 引き増しし、一度解除した後に設定したテンションまで引っ張ります。



テンション調節ボタン

テンションの設定を ±1.0 または 0.1 ポンド（又はキロ）で変更することが出来ます。

ヒント

3 桁のテンション表示の右側に「4」と表示されている場合でそのままエンターボタンを押すと、4 番目の番号に現在設定されているテンションが記憶されます。

スピード切り替えボタン

引っ張りスピードをファスト（初期設定）、ミディアム、スローの 3 段階に切り替える事が出来ます。
低いスピードは伸度が少ないバトミントンストリングなどを引っ張る際に使用することをお勧めします。

ノットボタン

1 度押すと 1 度だけ設定テンションの 10% 増しのテンションで引っ張ることが出来ます。

ストリング長さ計測計ボタン

ストリングの長さを計測することが出来ます。
※本機には装備されていません。

ポンド / キロ切り替えボタン

表示をポンドからキロに切り替えるときに使います。

テストボタン

テストボタンを押す事で、現在までの設定テンション通りにストリンググリッパーでストリングを引っ張った回数が表示されます。

◆この回数はあらかじめ 38 で割られた数字で表示されます。これは 1 本のラケットを張り上げる際に平均 38 回引っ張る事を想定している為です。
9,999 回を超える回数については、テストボタンとメモリーボタンを同時に押すと表示されます。

リターンボタン

グリッパードラムにストリングが絡まった場合逆回転させるときに使います。

ヒント

テンション補正の手順
◆1 テストボタンを押した状態で電源を入れ、カウントダウンモードから補正モードへ切り替わりを待ちます。
その後、テンション表示が 10Kg 又は 22LBS となります。

◆2 テンションゲージ（別売）の一方をクランプで固定し、もう一方を張り上げる要領で
ストリンググリッパーで引っ張ります。
テンションゲージに表示された値をコント ロールパネルのテンション表示ボタンを操作して入力し、
エンターボタンを押しま す。

◆3 ストリンググリッパーのテンションを解除すると、20Kg 又は 44LBS と表示されます。

※くりかえし　◆2

◆4 ストリンググリッパーのテンションを解除すると、30Kg 又は 66LBS と表示されます。

※くりかえし　◆2

◆5 ストリンググリッパーのテンションを解除すると、40Kg 又は 88LBS と表示されます。

※くりかえし　◆2

◆6 ストリンググリッパーのテンションを解除すると、00 と表示されます。

◆7 テストボタンを 5 秒以上長押しするか、電源を OFF します。
再度 ON にする事で再起動され、テンションの補正は完了です。

ヒント

工場出荷時にあらかじめ、キー操作音はオンの状態になっています。
電源を ON しコントロールパネルのテンション表示のカウントダウンが終了するまでに、
エンターボタンを 5 秒以上長押しする事で、サイレントモードに切り替える事が出来ます。

機能

電動ユニットの保護のための 60 秒自動停止
電動ユニットの保護の為、ストリングの設定テンション到達後、
本機は最大で 60 秒までしかストリングを引っ張り続けません。
30 秒後ブザーが鳴り、-30- と表示されます。
その後、残り 20 秒でも表示が繰り返され、10 秒前からカウントダウンが始まります。
60 秒後、本機は引っ張りを停止します。ロータリー式モデルでは、スタート / ストップスイッチ、
横引きモデルでは、ストリンググリッパー右端のスタート / ストップスイッチで戻す事が出来ます。
（サイレントモードでの作業中は、ブザーが鳴りません。）

液晶表示メッセージ

マシン操作中にエラー等が発生すると、液晶表示窓にメッセージが表示されます。

C01	電源を入れた後、6秒以内にストリンググリッパーが右端のスタート位置に戻らない場合。
C02	電源を入れた後、ストリンググリッパーがストリングを検知した場合。
C03	ロードセルへの初期電圧が高すぎる場合。
C04	モーターへの電流が大きすぎる場合。
C06	ストリングがクランプで滑った場合などに起こる、ロードセルの信号が突然止まった場合。
C07	モーターへの過電流（起動時にストリングが引っ張られた場合や、 スイッチの一部が破損している場合）

2. さぁ張り上げていきましょう

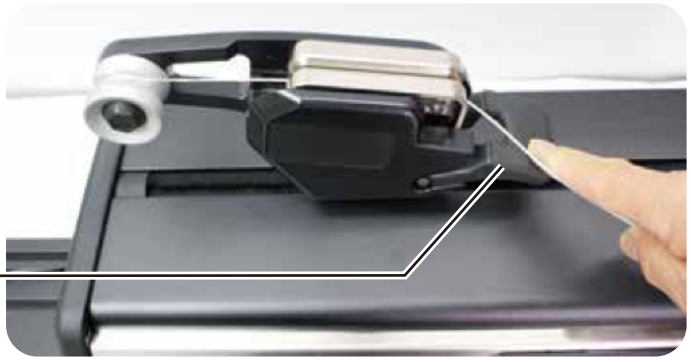
ストリングの張り上げ

～縦糸から張り始めます～

1 ストリングの両側をラケットグロメットの中央部分の両サイドの穴に入れます。

2 ストリングをローラーガイドに時計回りに巻きつけ、チャック部分に挟みます。

◆ストリングを挟む時は、必ずストリング全体がチャック部分に挟まれるように調整してください。

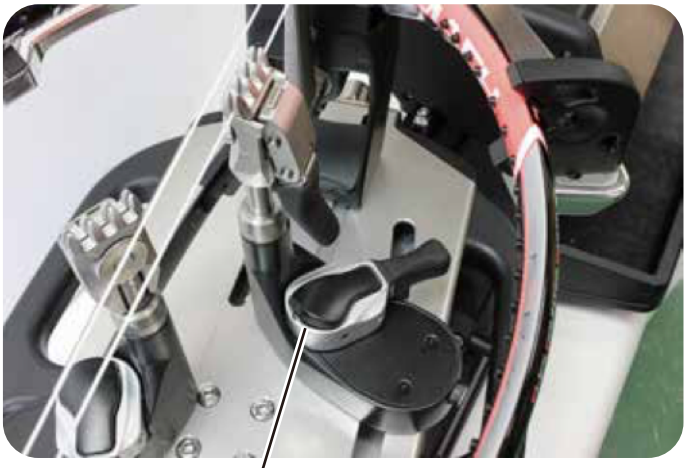


ヒント ストリンググリッパーの隙間の調整
2.5mm の六角レンチをチャックの内部のネジ穴に合わして調整します。

注意 ストリングを引っ張るときは、指などを挟まないよう充分注意してください。
また、お子様には作業させないだけでなく、機械に近づかないよう配慮願います。

クランプ・クランプベースのセット

1 クランプを持ち上げてからクランプレバーを押し下げてストリングに挟み、固定します。



機能 クランプのオートリリース機能付き

2 クランプベースレバーを時計回りに回して固定します。

◆テンションをかけて固定する場合はテンションロスを防ぐためにクランプベースにしっかりと固定してください。

◆クランプの中でストリングが滑った場合はクランプレバーの反対側の調整ノブを時計回りにしてクランプの圧力を調整してください。

◆圧力を強くしすぎないように慎重に調整してください

ヒント

クランプベースが動いて滑る場合はノブを回して調整できます。

ヒント

クランプの調整
張り上げ前にストリングのゲージの太さによって挟む圧力を調整してください。

機能

ダイヤモンドダスト加工されたクランプの内側はクランプとストリングの摩擦を大きくし、ストリングを弱い圧力で挟み込みながらも滑ることなく、設定のテンションを保持することができます。

機能

ストリングマシーンの本体右側に張り上げ工具を収納できるツールケース付き。

機能

張り上げの際に便利なターンテーブルブレーキが装備されています。

ターンテーブルブレーキ

テンションをかけていきます

1 テンションスイッチを押す、又はフットペダルを踏みテンションをかけます。

◆設定テンションに到達すると、テンション表示が点滅しクランプで挟むタイミングを知らせます。

◆万が一テンションをかけている途中に誤ってコントロールパネル上の他のボタンに触れた場合は、ストリンググリッパーが自動的に元の位置に戻ります。

2 同じ作業を繰り返しながら縦糸を張り上げていき、図のようにして最後の縦糸を止めます。

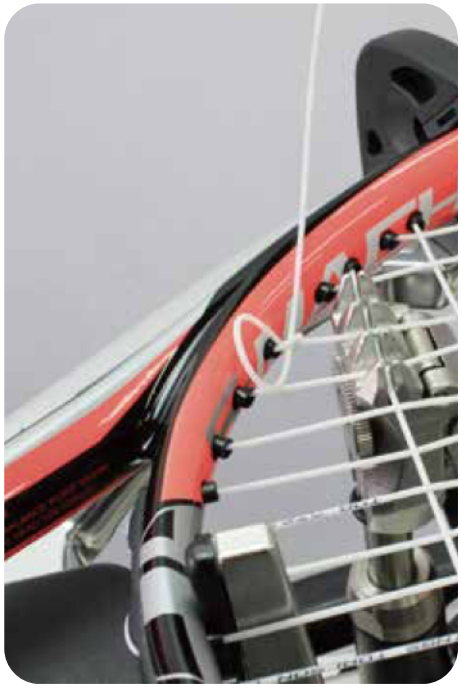
◆ラケットメーカーの指定するストリングパターンに沿ってください。

～横糸～

1 横糸は縦糸を交互に上下させながら網目状に張り上げていきます。

2 同じ作業を繰り返し、最後の横糸にテンションをかけ、クランプで止め、横糸を止めます。

◆ラケットメーカー指定する位置でストリングを止めてください。
張り上がり後はフレームショルダーサポートを緩めてラケットを取り上げます。



3. マシーンの調子が悪いとき、次の原因を確かめましょう

こんなときには	次の点をお調べ下さい。
ストリングがクランプで滑る時	クランプの調整をしてください。
	クランプのゴミ、油分を除去してください。
ストリングがグリッパーで滑る時	ストリンググリッパーのチャック部分のゴミ、油分を除去してください。
	ストリンググリッパーのチャック部分にストリングが正しく挟まれているかどうか調べてください。
クランプベースの滑りが悪い時	クランプベースとターンテーブルを清掃してください。
電動部分が作動しないとき	電源部分を確認してください。
	コードが接続されているか確認してください。
ストリングのテンションがおかしいと感じたとき	別売りのテンションゲージでチェックしてください。

4. ワインダーハウスの脱着方法

ワインダーハウス四隅にあるネジを六角レンチで回し、
持ち上げると取り外すことができます。

※故障・修理時に必要です。

5. マシーンのお手入れ

ご購入から時間が経過するにつれ、クランプやストリンググリッパー部分にゴミや油分が溜まります。
ストリングが滑る原因になりますので、定期的に清掃してください。

6. アフターサービス

◆修理・部品のご注文は、お買い上げの販売店にご相談ください

ご相談・修理・部品確認について

お問い合わせ頂く前に以下のことをご確認ください。
①機種名・・・事前にご確認いただきますとスムーズにご案内する事が出来ます。
(取扱説明書の表紙、マシーンの本体をご覧ください。)
②保証書・・・お買上げ日、販売店名など記載された保証書をご用意ください。

メールでのお問い合わせ

【トアルソンホームページ】 CONTACT お問い合わせフォームから
【メールアドレス】info@toalson.co.jp

お電話でのお問い合わせ

078-232-1991
【営業時間】平日 9：00～16：00 【休業日】土日・祝及び夏期・年末年始

◆マシーン本体を送る際は p.12 の「ワインダーハウスの着脱方法」をご確認ください。

TOALSON

株式会社トアルソン
〒651-0078　神戸市中央区八雲通3丁目1番24号
TEL: (078)232-1991
FAX: (078)232-0213
E-Mail: info@toalson.co.jp
ホームページ: www.toalson.co.jp

2019年3月　第1版